

e-kensinマップのご案内



建築・不動産ニュースを時系列で表示 土地情報と重ねて新たな発見を



The screenshot displays the Kensin+ web application interface. On the left, a sidebar contains a '地図' (Map) tab, a '情報' (Information) tab, and a 'プラス' (Plus) button. Below these is a '地番検索' (Land Number Search) section with a search box for '札幌市' (Sapporo City) and a '表示' (Display) button. A 'ニュース' (News) section lists various categories like '工事・計画' (Construction/Planning), '行政・予算' (Administration/Budget), '企業・団体' (Companies/Organizations), '製品・技術' (Products/Technology), '統計・データ' (Statistics/Data), '連載・特集' (Serialized/Special Features), and 'ほかいろいろ' (Various Others). A '建築・不動産' (Construction/Real Estate) category is highlighted. Below this, there are toggle switches for '時系列サイズ' (Time Series Size) and 'ON/OFF'.

The main area shows a map of Sapporo with several location pins. On the right, a '記事一覧' (List of Articles) section displays a list of news items with dates and titles. The first article is dated '2020-06-12' and titled '札幌駅交流拠点再開発準備組合が秋にも基本計画を策定へ' (Sapporo Station Exchange Hub Redevelopment Preparation Committee to Finalize Basic Plan in Autumn).

札幌駅交流拠点再開発準備組合が秋にも基本計画を策定へ
2020年06月12日(16面)

J R札幌駅前で再開発を計画する札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合が、基本計画を策定作業と並行して、夏ごろに環境影響評価手続きに入ることも検討する。価値向上に向けた助言などを担う事業推進パートナーも公募型プロポーザルで募集しており、準備組合は中央区の北5西1街区を保有する札幌市と、同西2街区に商業ビル「エスタ」を再開発により、新幹線開業で駅前となる両街区（約3ha）の一体的な再開発を計画する。

再開発ビルは、市が招致を目指す2030年冬季五輪・パラリンピック前の29年秋の完成を玄関口にふさわしいシンボル性のある拠点創出を掲げる。低層に商業、中高層にオフィスが再開発ビルをイメージ。高層棟は高さ約230m、オフィス規模は市内最大級を目標としている。準備組合は10日付で、オフィス床を中心としたビル全体の価値向上に向けた助言などをで公告。業務内容は、ビル全体の価値向上策やオフィスの施設計画、事業計画の検討など。

時空間の伝達メディア

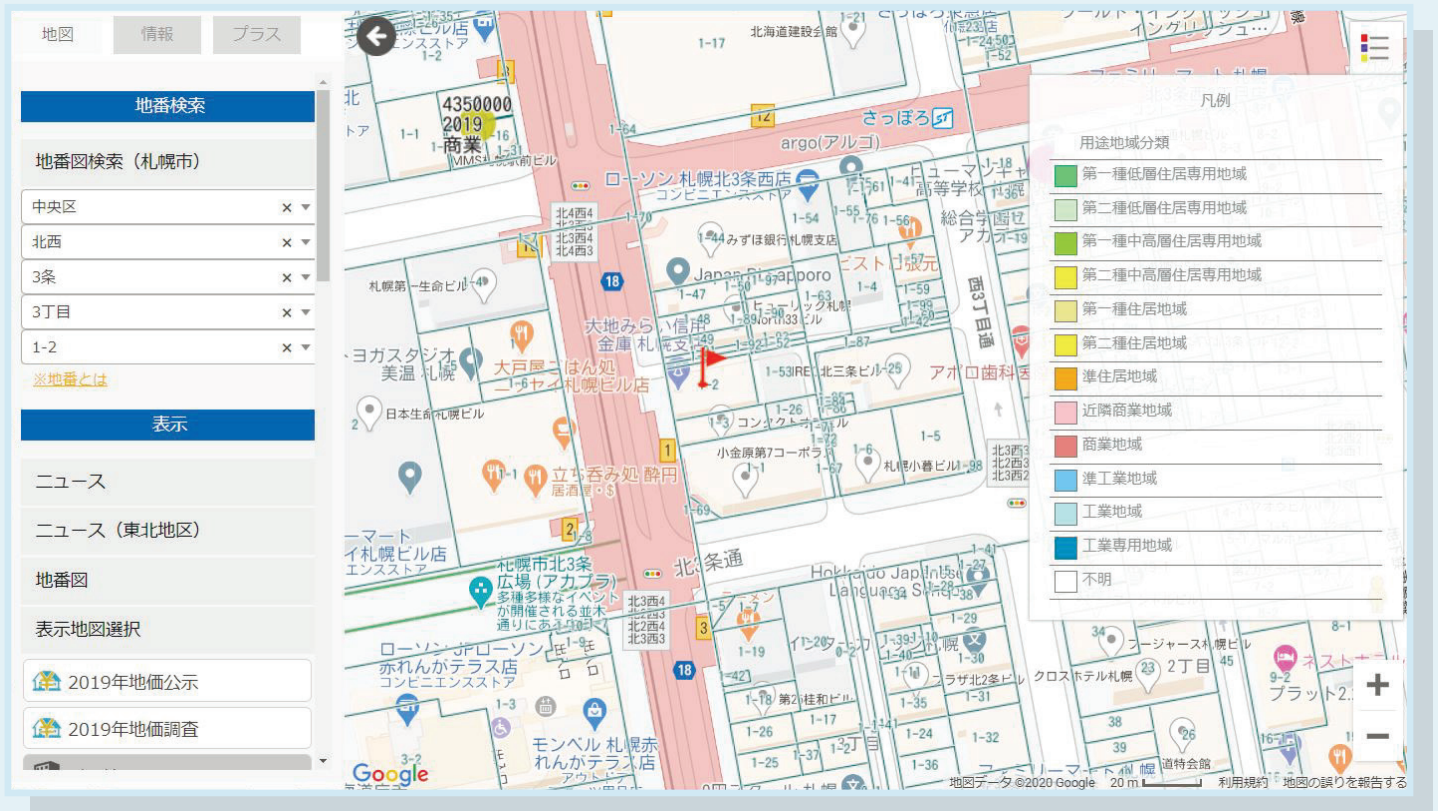
日々のニュースに都市計画や土地価格、地番や現況道路図、航空写真など、公開されている各種の情報を重ねて「見える化」しました。時系列で並んだニュースは、その土地や建物の時空間情報を伝える、メディアの新しい形と考えています。



建築・不動産ニュースを毎日追加！

北海道建設新聞に掲載した建築・不動産関連のニュースを毎日追加していきます。地図上に表示することで位置関係や距離感を把握できる新しいメディアです。

土地利用情報の取得を支援 地番や地価など複数情報にアクセス



地番や土地利用を手軽に把握

道内主要都市やニセコ地区など開発が活発なエリアは、ニュースとともに地番図や土地の取引価格など各種情報を掲載。手軽に多くの情報を集めることが可能です。

地番図検索機能

有料情報サービスの「e-kensinプラス」には、地番の検索機能を備えています。知りたい場所を簡単に検索でき、周囲の情報やニュースを手早く取得できます。



地番図の掲載エリアは拡大中！

地番図の掲載都市は札幌市、函館市、帯広市、釧路市など道内主要都市をはじめ、札幌近郊、ニセコ地区など道内13自治体を掲載しています。行政のオープンデータ化の推進を背景に掲載対象はさらに拡大する予定です。

主要都市の建築計画を地図で発信 ニュースと合わせて情報量アップ



建築計画を地図で発信

道内市町村の建築確認申請から建築計画を取材し、電子地図上で発信しました。施主や規模、設計者や施工者とともに、建築物の周辺環境が一目で把握できます。周辺の建築計画が合わせて閲覧できるため、その地域の建築動向の把握にも最適です。



掲載日でデータを絞り込み！

建築計画は、情報掲載日で表示物件を絞り込むことが可能です。新規計画の抽出から、一定期間の建築動向など、用途に応じて使い分けながら閲覧することができます。

北海道の未来をGISで応援 場所の「情報」を地図で「見える化」

Googleマップの普及により、Webを使ったGIS（地理情報システム）は利用しやすい環境が整ってきました。北海道建設新聞社は、日本不動産研究所と建設や不動産などのまちづくり情報を、インターネットを通じて電子地図上に展開するWeb-GIS「e-kensinマップ」を開発しました。

北海道建設新聞の読者は建設会社、不動産業、住宅産業などで、その多くが地図と密接な仕事を営んでいます。GISは、こうした社会基盤やまちづくりを支える人たちに、場所に関する情報を「見える化」し、分かりやすく効果的に伝えます。

北海道新幹線の札幌延伸に向け、再開発で変わりゆく札幌都心の風景など、まちづくり情報は多くの人々が関心を抱くところです。「e-kensinマップ」を使い、付加価値の高い情報を発信していくことで、地域の未来づくりに貢献したいと考えています。

GIS (ジーアイエス)

Geographic Information Systemの略で地理情報システムと訳されます。地理情報、地理に関連する情報をコンピューター地図上で見える化して、分かりやすく伝達することがGISの大きな役割です。

Googleマップ

場所の検索などスマホで使うGoogleマップもGISの一種です。私たちの「e-kensinマップ」は、一般に普及したGoogleマップをベースに開発しています。情報を見える化することで、周辺の関係性の把握や分析、評価がしやすくなります。

新聞とセットでお得

北海道建設新聞を購読している方は、月額3,300円(税込み)でe-kensinプラスの全てのコンテンツを利用することができます。まだ北海道建設新聞をご購読いただいていない方は、この機会にご検討ください。

e-kensinプラス料金表(2021年5月6日より)

新聞購読者様(1部につき5口まで)

	新規契約(1口目)	2口目から5口目まで
会費(月額利用料)	3,300円	5,500円
事務手数料	11,000円	5,500円

e-kensinプラスのみご契約

	新規契約	追加契約
会費(月額利用料)	14,000円	14,000円
事務手数料	11,000円	11,000円

※新聞購読(月額9,800円)と同時契約がお得です。

※料金表示はすべて税込み

ご入会の流れは3ステップ

メールフォームでお申し込みいただくと、札幌本社からログインに必要な「タッチキー」などを発送します。タッチキーはOSやブラウザを選ばず、ドライバのインストールも不要。届いたその日からe-kensinプラスをご利用いただけます。

STEP 1



お申し込み

メールフォームで
お申し込みください

STEP 2



キーの発送

札幌本社から
認証キーを発送します

STEP 3



キーが到着

届いたその日からすぐに
ご利用いただけます

お問い合わせは、電話またはe-kensinプラス「入会のご案内」へ👉



0120-307-892



株式会社北海道建設新聞社

〒060-0004 札幌市中央区北4条西19丁目1番地11

☎011-611-6311(代表) 011-611-6315(編集) FAX011-621-2913(営業) 011-640-2625(編集)

ホームページ <https://e-kensin.net/>

e-kensin

検索

